



7日(土)は七夕でした。園でも各クラスで七夕飾りを作って飾りましたが、当日は大雨警報などが出るなどの荒れた天気となってしまいました。七夕飾りも寂しそうに見えましたが、子どもたちが短冊に託した夢が叶うといいなと思います。

○ 給食試食会を行いました。

7日(土)の午前中、ランチルームで給食試食会を行いました。19名の保護者の皆さんが来られて、本園の給食を試食しました。保護者の皆さんから質問も出され、調理場の方が答えてくださいました。

Q：味付けが薄味だけど、大人と同じ味付けでも構わないのか？

A：園では子どもの発達段階に合わせて薄味にしているが、濃くても大丈夫。

Q：園の1か月の献立は同じ食材でも、毎日メニューが違っている。どうやって献立を考えているのか？

A：市の管理栄養士が考えた献立に、園の調理場の管理栄養士が考えた献立を組み合わせている。

Q：園では野菜を食べているというが、野菜は生野菜なのか？

A：食べやすくするために、一度湯通ししている。

出席者へのアンケートも実施しましたので、その詳細については改めてお知らせします。

○ 年長組の子どもたちが高校野球開会式前のアトラクションに参加しました。

7日(土)の午前中に、生目の杜運動公園「はんぴドーム」で行われた第100回全国高等学校野球選手権記念宮崎大会開会式の前に行われたアトラクションに、年長組の子どもたちが参加し、ダンスやTボールを披露しました。

当日は、朝からあいにくの雨で、グラウンドではなく、ドーム内で行われました。本園を含め市内と西都市から8園から約320人の園児が集まり、元気にダンスを踊り、Tボールでボールを思い切り打ちました。保護者の皆さんにもたくさん来ていただきました。ありがとうございました。

なお、今回使用したTボールの道具とボールはいただけるそうです。これからの園での活動で活用していきたいと思います。

また、その後の開会式では、宮崎学園高校の吹奏楽部の皆さんが演奏を担当していました。



○ 保育園部駐車場ポールについて

保育園部の玄関前の駐車場の南側に高さ50cm程度のポールが2本立っています。これは、夜間にチェーンを張るためのものですが、高さが低いため、つい見落として車の側面等をこする恐れがあります。

そこで、このポールの存在を運転者に意識していただくために、長い棒を取り付けましたので、お知らせします。



赤白まだらで目立つはず。

○ 足の健康（足育）運動能力編 2

8日付けの内容は、子どもの運動能力は毎日の生活の中で高めることができる、という1日付けの内容を踏まえて、次の28の動きを幼児期にぜひ経験させたいというものでした。

1 身体のバランスをとる動き

①立つ ②座る ③寝転ぶ ④起きる ⑤回る ⑥転がる ⑦渡る ⑧ぶら下がる

2 身体を移動する動き

⑨歩く ⑩走る ⑪はねる ⑫跳ぶ ⑬登る ⑭下りる ⑮這う ⑯よける ⑰滑る

3 用具などを操作する動き

⑱持つ ⑲運ぶ ⑳投げる ㉑捕る ㉒転がす ㉓蹴る ㉔積む ㉕こぐ ㉖掘る ㉗押す ㉘引く

(文部科学省「幼児期運動指針ガイドブック」より)

スポーツでは特定の動きが多くなりますが、遊びではこの28の動きが全てでき、自分から動くため、伸び伸びと無理のない動きができるようです。例えば、2～3mのひもを使っていろいろな動きをさせることができるそうです。ひもの上を跳ぶ。下を這う。床に置いて上を歩く。ゴールにして走る。何かに結んで引く。手綱にしてそり滑りごっこをする。土俵に見立てて相撲をすれば、押す、引く、よける、転がる、起きる動きができます。

6～7歳までに身につけた基本の動きが、体育やスポーツに必要な複雑な動きを可能にするということです。家庭でも工夫して子どもにいろいろな動きをさせてみてはいかがでしょうか。

○ 災害への備えを！

先週末から、九州北部、四国、中国地方を中心に大雨による災害が発生しています。これまでに死者が約90人、行方不明者も多数いると報道されています。

大雨特別警報が6日(金)～8日(日)にかけて11府県に出され、想像以上に大きな被害が各地で出ています。そんな中、私も先週末、私事で熊本・阿蘇に車で行ったのですが、九州自動車道は都城～高原、人吉～八代が通行止めになっていました。そこで、一般道で高原まで行き、そこから人吉まで高速、人吉から鹿児島県伊佐経由で熊本・阿蘇まで行きましたが6時間もかかってしまいました。帰りは高千穂回りで帰ってきました。よそのことと思っていたら、自分も影響を受けてしまい、普段の生活がいかに快適で便利かということを感じ知らされました。

被災地では、電気・ガス・水道など、いわゆるライフラインが寸断され、多くの方がつらい生活を余儀なくされています。また、家族や友人を亡くされた方は、深い悲しみにうちひしがれておられることでしょう。一日も早い復興を願うとともに、被災された皆さんに心からお悔やみを申し上げたいと思います。

幸い、宮崎地方は大きな被害は出ていませんが、いつ、このような災害に見舞われるかは分かりません。本紙No.12でも書きましたが、各家庭でも、いざというときの対応を平穏な今、考えておくことが必要だと思います。天災はいつ発生するか分かりません。日中なのか、夜間なのか。平日なのか、休日なのか。自宅にいる時なのか、外出している時なのか。家族が一緒の時なのか、ばらばらな時なのか。天災も地震なのか、大雨なのか、津波なのか。様々な状況を想定しておくことが、いざという時に慌てず、安全に避難し、命を守ることに繋がります。



園としては、子どもたちが在園中に天災(地震や大雨、津波)や火災が発生したことを想定した避難訓練を計画的に実施しています。「自分の命は自分で守る」。そのための備えをしっかりとっておきたいものです。